

災害情報研究会

「首都直下地震 一今取り組むべき課題一」 のご案内

東京大学情報学環総合防災情報研究センター（CIDIR、センター長 田中淳教授）では、昨年に引き続き、「災害情報研究会」を開催します。昨年は、南海トラフの巨大地震想定をテーマとしましたが、今年は、懸念されている首都直下地震に向けて、今取り組むべき課題と必要な研究領域をテーマとして開催します。

首都直下地震時には、今までの研究領域の範疇にないような新たな技術的・社会的課題が顕在化する恐れがあります。本研究会では、様々な分野でご研究されている専門家が集まり、異なる分野の連携により解決すべき首都直下地震への課題を明確化し、新たに求められる研究課題は何かについて議論することを目的としています。

東京大学の様々な分野において、防災・減災に関わるご研究をされている学内の皆様、学外の防災の専門家の皆様にぜひご参加いただきたく、ご案内をさせていただきます。各回ともに、議論するトピックスを決め、1名の専門家に話題提供をしていただいた後、参加者による総合討論を行います。年間を通して研究会を開催し、今取り組むべき課題や研究領域のマッピングを行う予定です。

スケジュール：

回数	日時	トピックス及び話題提供者
第1回 <small><終了しました></small>	平成25年1月28日（月） 18:30～20:30	被害想定 of 課題 加藤孝明 准教授（東京大学生産技術研究所）
第2回	平成25年2月13日（水） 18:30～20:30	震災時の首都圏の交通機能 田中伸治 准教授（横浜国立大学大学院 都市イノベーション研究院）
第3回	平成25年3月19日（火） 18:30～20:30	震災時の東京湾の物流機能 国土交通省港湾局（予定）

場所：いずれも 東京大学 山上会館 201・202会議室

第4回目以降も順次開催の予定です。

申込方法 下記の事項を、メールでお知らせください。

・参加する回、ご氏名、ご所属、連絡先（ご住所、電話番号、メールアドレス）

申込先： cidir_forum[at]iii.u-tokyo.ac.jp ※送信の際は、[at]部を@に打ち変えてください。

お願い CIDIRでは、本研究会を通じて、防災研究者のネットワーク構築を目指しております。当日に参加できないがご関心のある場合は、ぜひご意見・ご希望等をお寄せください。